

科目	頁	該当箇所	誤 (訂正前)	正 (訂正後)
計画	94	最頻出問題5の解答(解説文)内の表	デッキプレート 5%	デッキプレート 0%
環境・設備	160	最頻出問題1の解答(解説文)	警戒区域は、1号消火栓は半径 20m で、2号消火栓は半径15m。	警戒区域は、1号消火栓は半径 25m で、2号消火栓は半径15m。
法規	229		法80条の3により	令80条の3により
	244	最頻出問題10の解答	10 ×	10 ○ (説明記述は正しいものです)
	274	実践問題2の図中	都市計画で定められた 容積率 8/10 都市計画で定められた 容積率 6/10	都市計画で定められた 建蔽率 8/10 都市計画で定められた 建蔽率 6/10
	299	最頻出問題4の解答(解説文)	法2条 7 項・18条2項	法2条 8 項・18条2項
	302	実践問題①の1の解答(解説文)	法2条 5 項より	法2条 6 項より
	304	実践問題②の6の解答(解説文)	法 23 条の3の2	法 22 条の3の2
	317	実践問題②の1の問題文 選択肢の3	延べ面積280㎡、木造、地上2階建ての 旅館	延べ面積280㎡、木造、地上2階建ての 集会場
		同上の解答(解説文) 選択肢の3	この場合当該設備を設ける必要はない(令21条1項 三号 、令別表第1 (五)項イ)。	この場合当該設備を設ける必要はない(令21条1項 三号のイ 、令別表第1 (一)項ロ)。
	342	実践問題21の解答	(解答未記載)	21 ○ (説明記述は正しいものです)
構造	412	最頻出問題5の解答(解説文)	5 ○ 壁のひび割れを抑制するため、1枚の壁の面積は25㎡以下とし、辺長比は 1.5 以下とすることが望ましい	5 × 壁のひび割れを抑制するため、1枚の壁の面積は25㎡以下とし、辺長比は 1.25 以下とすることが望ましい
	428	実践問題2の解答(解説文)	400炭素鋼材の場合は安全率 1.1 倍	400炭素鋼材の場合は安全率 1.3 倍
	433	実践問題7の解答	7 ○	7 × (説明記述は正しいものです)
施工	481	実践問題7の解答	7 × エネルギーの使用の合理化に関する特定建築物届出書の提出先は、市町村長である	7 ○ エネルギーの使用の合理化に関する特定建築物届出書の提出先は、建築主事を置かない市町村では、都道府県知事である

お詫びして訂正いたします

なお、最新の正誤表はホームページに掲載しております